

1 予算編成の方針

地域経済の低迷等による市税収入の伸び悩み、高齢化の進展に伴う医療・福祉関係経費の自然増、合併後の建設事業の進捗に伴う公債費の高止まりにより、本市においても厳しい財政状況が続いている。

このような状況にあっても、「日本一輝いているまち」に向け、産業の活性化はもとより、未来の燕を担う子どもたちの育成、医療・福祉の充実、防災・減災対策の強化などに重点的に取り組む必要があることから、「燕市総合計画後期基本計画」に示された「目指すべき4年後の姿」を見据え、改めてこれまでの取組や現状を検証し、施策の重点化を図りながら予算編成を行いました。

2 予算の規模等

上記の編成方針を踏まえ、予算編成を行った結果、目の前の課題にきめ細やかに対応するための事業の充実を図るとともに、将来に向けて必要な施策についても重点的に取り組む予算となりました。

平成24年度の一般会計当初予算の総額は355億4,800万円となり、平成23年度と比較して4,300万円(0.1%)の減額となっています。

なお、国の平成23年度補正予算等に伴い採択された小中学校改築・大規模改造事業30億4,833万4千円については繰越事業として実施しますが、これを含めた場合の総額は385億9,633万4千円となり、平成23年度と比較して30億533万4千円(8.4%)の増額となります。

主な増加要因

【投資的経費等】

- *新庁舎建設事業 33億8,504万9千円 (+ 24億9,902万円9千円)
- *燕・弥彦総合事務組合負担金 10億1,074万6千円 (+ 5億530万8千円)
(最終処分場拡張事業分)
- * (仮称)吉田南地区統合保育園整備事業補助金 4億1,083万1千円(新規)
- * (仮称)燕南地区幼保一体化施設改修事業 2億334万1千円(新規)
- * (仮称)吉田統合保育園建設事業 2億7,186万1千円(新規)

【その他経費】

- *子ども医療費助成事業 2億3,434万1千円 (+ 7,072万7千円)
- *生活保護事業 5億5,965万8千円 (+ 1億350万7千円)

主な減少要因

【経常経費】

- *人件費(委員報酬等含む) 47億5,299万7千円 (- 2億3,990万6千円)

【投資的経費等】

- *八王寺佐渡線道路改良事業 8億9,900万円(事業完了)
- *杉名児童館建設事業 1億6,515万円(事業完了)

【その他経費】

- *子ども手当給付事業 13億9,038万5千円 (- 3億5,440万8千円)
- *在宅高齢者福祉事業 7,485万6千円 (- 9,095万6千円)
- *システム開発業務委託料 6億7,300万円(事業完了)

また、国民健康保険や介護保険をはじめとする7つの特別会計の予算総額195億9,376万1千円と、一般会計の予算総額を合わせた予算総額は551億4,176万1千円となり、平成23年度と比較して8億8,950万2千円(1.6%)の増額となっています。